

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2023年3月31日

事業所名 ククル・はな

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	2	0	専門職員の加配を行い、他にも職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	0	階段等危険な箇所については職員が同行する等安全に努めている。	今後も安全に十分に配慮しながら支援を行っていききたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	実績報告、年度計画、職員配置を決める職員会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	毎年ガイドラインに基づきアンケートを実施している。	結果を職員全体で共有し、課題を共有しながら支援を行っていききたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	0	実施していない。	今後も実施の予定はなし。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	年度初めに研修計画を作成し、研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	アセスメントやモニタリングに基づき、個別支援計画の作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	K式発達検査の準用を行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	各事業所ごとに会議を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	年間で週ごとの行事計画を作成し、それに基づいて週間で行事を決めて行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	各事業所で会議を行い、行事を決めて行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	支援開始前に必ず打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	ケア終了後や翌日に振り返りを行い、共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	日誌・個別記録等の記入や、職員向けの連絡ノートを作成し記入している。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	1	0	行っている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	会議が行われる場合には参加している。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	必要に応じて電話連絡等を行っている。	定期的ミーティングには毎回参加している。それ以外にも、見学を行ったり、担任の先生との情報共有や意見交換を行うことができた。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	0	該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	0	今年度は該当なし	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0	機会があれば情報を提供していきたい。	卒業移行支援会議にはなかなか参加できない状況にあるが、学校にも働きかけ、今後は支援内容を移行先にも提供できるようにしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	研修を受講している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	0	公園等で自然な流れでの交流はある。	コロナ等の感染状況も鑑みながら、可能な範囲で交流ができるようにしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0		協議会の定例会議には毎回出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時や面談時に保護者と情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	面談等で話し合い、必要なことは伝えるようにしている。	今後も面談時等を通じ、保護者に必要なことは伝えていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	クリスマス会にて保護者の交流の場を設けている。	コロナ等の感染状況も鑑みながら、可能な限り場を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情等があった際には、丁寧に対応するようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	すまいる通信の発行や連絡ノート、予定表の配布など行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	0	地域に向けた行事等は行っていないが、地域のイベント等には参加している。	今後の状況も鑑みながら、可能であれば地域のイベント等に参加していきたい。地域の公園等への外出は行っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0		マニュアルについて、職員に周知を行った。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	避難訓練を定期的に行い、救命救急講習も受講している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		虐待防止・身体拘束等適正化委員会等でも検討しながら、必要な支援を行っていききたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	0	該当なし	今後必要な場合には、対応を行っていききたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	定期的に会議を行い、共有している。	